

2024 年度

文学部 総合型選抜 I 期(文章読解型)

【小論文】

60 分 100 点

次の文章を読んで、設問に答えなさい。(100点)

教育社会学者の^{*}茹谷剛彦さんが行なった高校生調査によれば、一九七九年には、自己能力感の高い生徒ほど高い学歴を求め、学習時間も長い傾向が見られました。しかしそうした傾向が逆転し、自己能力感の高い生徒ほど高い学歴を求めず、学習時間も短い傾向が見られます。このデータが示唆するのは、生まれもつた素質として自己能力を捉える傾向が強まつた結果、知識でそれを補強する必要などないと考える人びとが増えていくという事実ではないでしょうか。

この調査によると、九〇年代以降の学校では、「がんばれば必ず成功する」という生徒と、「何をやつても無駄だ」という生徒のあいだで、意欲の二極化も進んでいます。インセンティブ・デバイド（意欲の格差）と呼ばれるこの二極化の傾向は、「生まれもつた素質によって人生は決まる」という感覚の広まりを示唆しているように思われます。ある生徒たちは、必ず成功する運命にあると確信しているからこそ努力もできるのでしょうし、別の生徒たちは、必ず失敗する運命にあると確信してしまったために最初から諦めているのではないでしょうか。人生の行方はあらかじめ定まっていると考えている点では、どちらも同じ心性の持ち主のように思われるのです。

また、^{*}荷宮和子さんは、若い世代に共通に見受けられる価値観の特徴に、がんばらずに良い結果を出すほうがかっこいい、何も考えずに行動するほうがかっこいい、挫折しかけた道でさらに努力を続けるのは見苦しい、の三点があると指摘しています。これらに共通するのも、「生まれもつた素質によって人生は決まる」という発想ではないでしょうか。だから、ただなすがままに任せて成功した者のがうがかつこよく、また本物に見えるのでしよう。逆にいえば、いくらがんばって良い結果を出しても、それは本物ではないと思ってしまうし、あれこれと考へて行動しても、結局はなるようにならぬかと思ってしまうのです。また、延々と努力し続けている人をみると、素質もないのに何を勘違いしているのだろうと思ってしまうこともあります。

これは、新しい宿命主義の登場とでもいうべき事態ではないでしょうか。前近代的な宿命主義と異なるのは、理不尽な身分制度によって抑圧され、やむなく希望を諦めているのではないという点です。生まれもつた素質という絶対的なものによって、一見すると「合理的」に、自分の人生が定まっていると考えられているという点です。

もつとも、前近代的な身分制度を理不尽だと考へるのは、私たちが近代人だからです。当の時代を生きた人びとには、それは自明の現実でした。武士の子が武士になるのは、けつして理不尽とは思われていませんでした。農民も、生活苦から一揆^{一揆}を起こすこととはあつても、武士に怨みや妬みを抱くことはありませんでした。自分も武士になるとは夢にも思わなかつたからです。

それと同様に、今日、生まれもつたと考えられている素質の多くは、^{*}P・ブルデューを嗜^嗜とする文化資本の研究者たちが明らかにしてきたように、じつは与えられた社会環境のなかで、身分制度と同じく格差をともないながら再生産してきたものです。たとえば、いくら天才的などアーティストであろうと、そもそも日常的にピアノに触れてくれ、定期的にレッスンに通わせてくれるような恵まれた成育環境になれば、その才能に目覚めることも難しかつたでしょう。したがつて、今日の新しい宿命主義も、じつは前近代的なそれと本質的に違つてはいません。作られた素質にもとづく待遇の違いを、合理的なものと思いまざれているだけなのです。

じつさい、(中略) 今日の中高生たちは、「格が違う」とか「身分が違う」などと形容して、クラスでの上下関係に過剰なほど気をつかい、交友関係を分断しあつていています。格にせよ、身分にせよ、会社での上司と部下や、学校での教師と生徒のよう、社会的に付与された役割や立場の違いを指す言葉ではなく、人間の本質的な属性の違いを指す言葉です。

また、男ならイケメンかキモメンか、女ならモテか非モテか、今からの努力では変更が不可能と思われるような固定的な属性で、卑近な対人関係だけではなく、自分の人生まで大きく左右されるかのよう考へる若い人たちも増えています。自由意思にもとづいて主観的に選択されたものとしてではなく、生まれもつた素質によって宿命づけられたものとして、自分の人生の行方を捉えようとする人びとが増えているのです。

(土井隆義『キャラ化する／される子どもたち』による)

(注)

* 茹谷剛彦 日本における教育の問題を生徒の家庭の社会階層と関連させて論じた。

* 荷宮和子 女子供文化評論家。宝塚歌劇、漫画、鉄道にも造詣が深い。

* P・ブルデュー フランスの社会学者。人類学、教育学、文化研究など、幅広い分野に影響を与えた。

* 文化資本 金銭などの経済的な資本以外の、学歴や文化的な素養などのこと。

問一 筆者は、「新しい宿命主義」と「前近代的な宿命主義」の関係をどのようにとらえているか。三百字以内で述べなさい。

問二 傍線部「自由意思にもとづいて主体的に選択されたものとしてではなく、生まれもつた素質によって宿命づけられたものとして、自分の人生の行方を捉えようとする人びとが増えている」とあるが、これについてのあなたの考えを五百字以内で述べなさい。